



ささえあい活動を広げましょう

ささえあいボランティア講座

12月6日、日高町社会福祉協議会主催による「平成30年度ささえあいボランティア講座」が門別ふれあいセンターで開催され、ボランティア活動についての知識を深めようと約40名が参加しました。

講座では、門別地域包括支援センター介護支援専門員や、社会福祉協議会職員によるボランティア活動のあり方や事例の紹介、ボランティア活動の始め方などについての講話と、最後に町内で活躍するボランティアグループ会員から、活動内容が紹介されました。



第8回全日本コルトリーグ(U-16)中学野球選手権大会(硬式野球)

川越亮輔くんが全国大会準優勝！

12月1日、2日福岡県大牟田市で開催された第8回全日本コルトリーグ(U-16)中学野球選手権大会(硬式野球)で日高中学校3年の川越亮輔くんが所属する北海ベアーズ(札幌市)が準優勝しました。

川越くんは、4番ファーストで3試合にスタメン出場し、10打数4安打の活躍でチームに貢献しました。

12月26日、大会の報告のため日高総合支所を訪問した川越くんは「将来は甲子園を目指したい。」と力強く抱負を述べました。



第16回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピード競技大会

日下賢将くんが全道大会で3位入賞

12月8日、9日、釧路市で開催された第16回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競技大会で、門別小学校6年の日下賢将くん(写真最前列左側)が500m、1000mに出場しました。

強豪選手がひしめく中、小学6年男子1000mの部では予選を突破し、見事第3位に輝きました。

冬本番を迎え今後の大会でも期待が寄せられます。

決勝タイム 1000m(1分32秒36)



平成30年度森と人を育てるコンクール

島田道嗣さんがトドマツ奨励賞を受賞

12月7日、全道各地で適切な森林整備を実践し模範となる優良林分を育てている森林所有者等を評価、表彰する「平成30年度森と人を育てるコンクール」の森林所有者部門トドマツの部において、富川北の島田道嗣さんが奨励賞を受賞され、日高振興局森林室 飯田宇之麿室長から表彰状が伝達されました。

島田さんは、「長い年月がかかりますが、これを励みに、より立派な森づくりをしていきたい。」と話されました。



北海道知事表彰

春木正友さんが北海道産業貢献賞を受賞

12月18日、北海道の林業、木材産業の振興に尽力された功績に対し、清島の春木正友さんが北海道産業貢献賞(森林づくり功労者)を受賞され、同月25日、役場を訪問し、大鷹町長に報告されました。

春木さんは永年にわたり、自身が所有する森林の間伐を主体とした手入れを行うとともに、その技術や知識を広く地域に提供するなど、地域林業発展に貢献された功績が評価されたものです。



小さな拠点づくり住民会議官民協働事業

日高美しい森picnic(ピクチャークリニック)

12月15日、16日の2日間、講師に地域おこし協力隊員の畠山公妥氏を、町内で自然ガイドをされている鈴木宏紀氏をファシリテーターとして迎え、「日高美しい森picnic」が開催されました。

関東圏から申し込まれたアマチュアカメラマン4名が日高地区に泊まり込み、2日間に渡り畠山講師の指導や、鈴木ガイドの解説を受け、日高の美しい景色を写真に収めました。

参加者の作品は、道の駅「樹海ロード日高」と国立日高青少年自然の家内に展示される予定です。



北海道日本ハムファイターズ選手らが被災地を訪問

12月17日、北海道日本ハムファイターズの鍵谷選手、玉井選手らが、北海道胆振東部地震で被災した厚真町、安平町、むかわ町を訪問し、子ども達と交流しました。

今回の訪問は、北海道出身の鍵谷選手と玉井選手が被災者の方々に少しでも元気になってほしいという思いから実現し、過去にファイターズに在籍し、同じ思いを抱いていた読売ジャイアンツの吉川選手、石川選手、中日ドラゴンズの谷元選手、大野選手も訪問されました。

訪問した3町と日高町の小・中学生がむかわ町青少年屋内野球トレーニングセンターに招かれ、野球教室が開催されました。日高町の子ども達は、中日ドラゴンズの谷元選手と日高町の応援大使を務める玉井選手から捕球、送球やバッティングを1時間ほどかけて教わりました。

参加した子ども達は、プロ野球選手のアドバイスやお手本に目を輝かせ、「とてもわかりやすかった。もっと色々な事を教えて欲しい。」「バッティングが上手だね、と褒めてくれた。すごくうれしい。」などの感想が聞かれました。